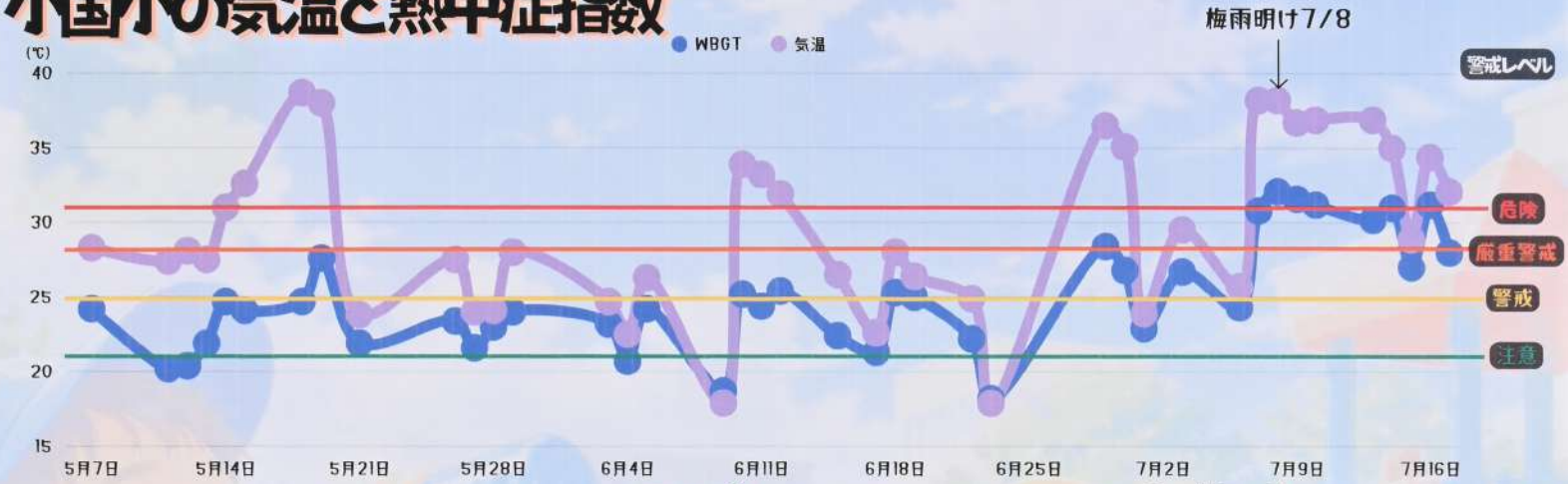
涼しい阿蘇の小国でも!?

熱中症の危険性があるのか調査してみました

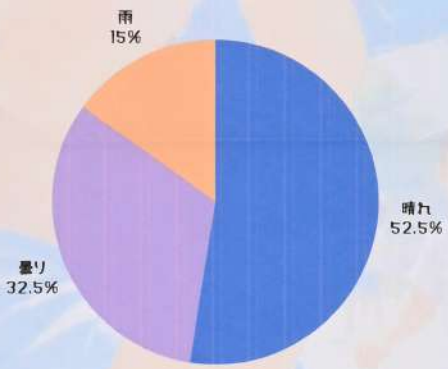
小国町立小国小学校
5年：藤田こうき、宇都宮あおと
6年：梅木りお、佐藤いっしん、豊岡りょう

調査した理由：去年は暑い日が多く、昼休みに外で遊べない日が何日もありました。
そこで、実際にはどのくらい暑くて危険なのか調査し、小国小のみんなが熱中症にならないよう呼びかけをするために調べました。

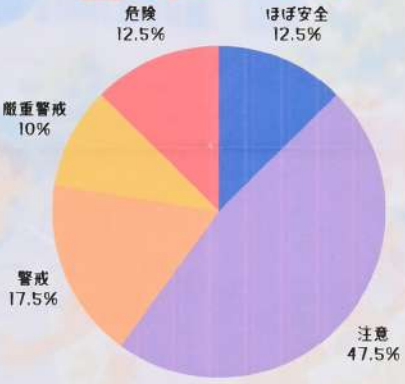
小国小の気温と熱中症指数



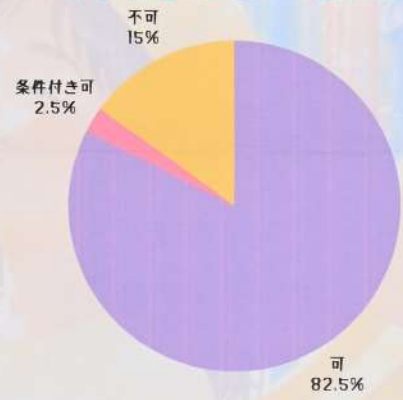
天気



警戒レベル



外遊びの可否



小国小学校保健室前にて、給食前に計測(5/7~ 40回)

熱中症予防のために

ぼうしをかぶってきていますか (もってきていない人数)



水筒をもってきていますか (もってきていない人数)



ハンカチをもってきていますか (もってきていない人数)



小国小学校 全校児童へ調査(5/12~5/21のうち4回)

考察・感想

調査を始めた5月は、良く晴れた日は気温が高い日もあったが、警戒レベルは「注意」から「警戒」が多く、熱中症の危険はあまりありませんでした。また梅雨の時期は涼しく感じることが多かったです。梅雨が明けた7/8からは一気に気温も熱中症指数も上昇し、警戒レベルが「危険」まで上がり、外で遊べない日がほとんどでした。

運動会前の5月に、熱中症予防の意識づけのためのチェックしました。ぼうしと水筒は、ほとんどの人がもってきていました。しかし、ハンカチは、持ってきていない人が多かったです。

また、6月からは熱中症指数と、昼休み注意してほしいことを給食時に放送し、熱中症予防を呼びかけました。

今回調査をして、阿蘇の小国でも、梅雨が明けたころから熱中症の危険性が高まることがわかったため、これからも小国小のみんなが熱中症にならないよう呼びかけをしていきたいです。